

中間期末の事業概況 (連結)

1. 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、保険引受収益が前年同期に比べ 180 億円増加の 1,305 億円（うち正味収入保険料 1,210 億円）、資産運用収益が前年同期に比べ 2 億円減少の 83 億円、その他経常収益が 69 百万円となった結果、前年同期に比べ 178 億円増加の 1,389 億円となりました。一方、経常費用は、保険引受費用が前年同期に比べ 293 億円増加の 1,378 億円（うち正味支払保険金 805 億円）、資産運用費用が前年同期に比べ 2 億円減少の 11 億円、営業費及び一般管理費が前年同期に比べ 6 億円増加の 64 億円、その他経常費用が 36 百万円となった結果、前年同期に比べ 292 億円増加の 1,455 億円となりました。

以上の結果、経常損益は前年同期に比べ 114 億円減少の 65 億円の損失となりました。経常損失に特別損益、法人税等合計を加減した親会社株主に帰属する中間純損益は、前年同期に比べ 117 億円減少の 70 億円の損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ 110 億円増加し 6,989 億円となりました。

また、当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ 96 億円減少し 1,909 億円となりました。

中間期末の事業概況 (単体)

1. 経営成績に関する定性的情報

経常収益は、保険引受収益が前年同期に比べ149億円増加の1,035億円(うち正味収入保険料938億円)、資産運用収益が前年同期に比べ9億円減少の30億円、その他経常収益が69百万円となった結果、前年同期に比べ140億円増加の1,067億円となりました。一方、経常費用は、保険引受費用が前年同期に比べ153億円増加の1,027億円(うち正味支払保険金651億円)、資産運用費用が前年同期に比べ1億円増加の2億円、営業費及び一般管理費が前年同期に比べ5億円増加の45億円、その他経常費用が24百万円となった結果、前年同期に比べ155億円増加の1,075億円となりました。

以上の結果、経常損益は前年同期に比べ15億円減少の7億円の損失となりました。経常損失に特別損益、法人税等合計を加減した当中間純損益は、前年同期に比べ30億円減少の15億円の損失となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当中間期末の総資産は、前期末に比べ148億円増加し5,054億円となりました。

また、当中間期末の純資産は、前期末に比べ46億円増加し1,336億円となりました。